

遊びの継続

プロジェクト名	大きいりす3月		
日付	2025年 3月 13日	記録者名	岡村
園児			
本日のねらい・内容	昨日も砂場で竹といを使って遊んでいた子どもたち。今日も竹といが砂場に置いてあるのを見ると、「水汲んでくるね」と言い、水を流し始めました。時間の流れもわかるようになったことで「昨日した〇〇のこと」を思い出しながら過ごすようになっていきます。またイメージの共有がしっかりできているからこそ、周りとやりとりをしながら過ごしていく姿が強くなっているんだなと思います。		



始めは竹といの表面に水をかけて「綺麗にしているんだよ」と言う子どもたち。何度も水をかけていくうちに、水の流れが気になり始め…



「昨日こうやったんだよ!」と言いながら、竹といを裏返し、水を流していきます。



さらに別の子どもが、「どんどん繋げていかな」と言いながらもう一つ竹といを持ってきました。確かに昨日は竹といを何個も組み合わせで水を流していました。それを思い出したようですが、なかなか思うように水が流れていきません。



周りの友だちが口々に「ここに置いたらいいんじゃない?」「もっと水いる?」と言いながら、一緒に考えていました。昨日とは違う流れではあるものの、「こうだったよね!」と喜び合う子どもたちでした。遊びの続きの保障の大切さもこの時期とても感じます。

成長の視点	
今後の展開	